

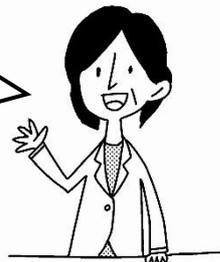
# キャリアポ通信

2020. 5. 20

文責

松下 澄江

3年生のみなさん、こんにちは。新緑がまぶしい季節となりました。制服も冬服から中間服へ、そしてもうすぐ夏服へと変わりますね。月日の経つのは本当に早いものです。今コロナウイルス感染症の影響で、企業説明会やオープンキャンパスなど進路に関わるいろいろなイベントが中止や延期になっていますが、みなさんの進路決定の時期は待ってくれません。今やるべきことをしっかりとやっておきましょう。

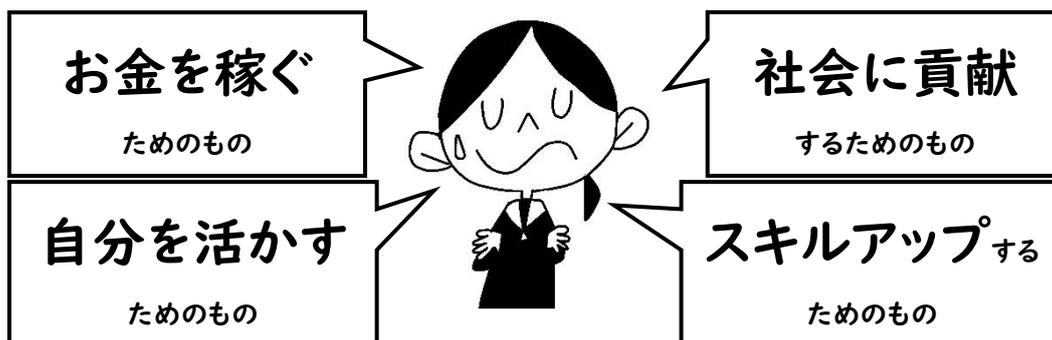


今やるべきこと その一

## 仕事を考える・キャリアを考える

「仕事とは何か？」を考えるのが就職活動のスタートです。働くことによって、より良き人生を築きあげていけるように考えていきましょう。

みなさんにとって「仕事」とは、「働く」とは何ですか？



「仕事」や「働く」には、上の図のようにいろいろな意味が考えられます。しかしどの意味を優先するかは人によって違います。「自分の優先順位に基づいて仕事を選択できている」というのが進路決定において一番望ましい状態です。

「働く」には、「傍(はた)を楽にする」を語源とする説があります。「傍」というのは「周り」のことですが、これは自分の身近なところから広がって社会全体を指すと考えられます。仕事をするだけで社会全体の役に立つ人間となることも「働く」意味の一つですね。おや、このフレーズどこかで聞いたことがありますか？そうですね。みなさんが毎日教室で目にしている校訓の一節「社会に有為の人間となる」です。周りの人たちを幸せのために働くことは自分を幸せにすることにほかなりません。先輩方との面接練習の中で、「社会貢献」という言葉をよく耳にしました。島原翔南で過ごした3年間、「社会に有為の人間となる」という校訓に常に触れていたことで、仕事を考える際の優先順位の上位に「社会貢献」を考えるようになったのだと思います。

「自分にとって仕事とは何か」を考えるためには、自分が何を大切にしたいのか、自らの価値観を問い直す必要があります。そのために、今までの自分が行ってきたことや今の自分が頑張っていること、これからの自分がどのように生きていきたいかを、「夢ノート」や「進路のしおり」「翔南ポートフォリオ」などを活用して考え、自己理解を深めていきましょう。

進路を考える



人生設計

自分のキャリアを考える

今までの経験を踏まえて、これから何を身につけ、どのような仕事をしていくのかを考える。



進路を  
考える3つの  
ポイント

自己分析

自分を知る

「自分はどのような人間なのか」「何が得意なのか」「どのような性格で、何に興味があるのか」自分自身を振り返って分析してみる。

企業研究

社会・企業・職種を知る

世の中にはどのような会社があり、どのような仕事があるのか、どのような役割を担っているのか調べる。今後の世界情勢に関心を持つ。



\*自己分析が必要な理由

就職試験や入学試験では、自分のことを知ってもらうことが大切です。「私はこういう人間です」と語れることが必要なのです。そうすることで、自分の強みや特徴を活かして職業を選択し、自らが望む将来を描くことができます。

また、面接試験では短時間で自分のことを伝えなくてはなりません。自分を客観的に分析して「自分はどのような人なのか」をまとめて、わかりやすく伝える工夫を考えましょう。

自己分析は、自分が大切にしたい価値観を明確にしていくことから始まります。紙面表にも述べてありますが、まずは自らの価値観を問い直していきましょう。



これからみなさんはそれぞれ一人ひとり自分の進路を決めていかなければなりません。自分の人生は自分で切り開いていくしかありません。先が見えず、不安に感じることもあるでしょう。そんな時はご両親や先生方、キャリアサポートスタッフにぜひ相談してください。一緒に考えていきましょう。

ただ最後に決定するのは自分自身です。悔いのない進路選択のために、今やるべきことにしっかり取り組んでいきましょう。

